

令和5年度 活動の重点目標

福島県公立学校退職校長会

1 目標

創立58年を迎え、これまで先人が築き上げてきた歴史と伝統を継承するとともに、本会のさらなる発展と飛躍を目指し、諸課題の解決に努め、加入会員の一層の拡大、会員相互の交流、生活の向上に努める。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止を徹底し、ふるさとの復興と未来を担う子どもたちの教育環境のさらなる充実、学校支援に努めるとともに、地域における社会貢献等に資する支援活動の充実を図る。

2 重点目標

- 本会が抱える諸課題の解決に向けた活動を強化する。
 - ・ 本会の将来ビジョンの具現
 - ・ 会員減少と会員の高齢化への対応（未加入会員への再勧誘）
 - ・ 県事務局ホームページの充実とデジタル化(DX)の一層の推進
 - ・ 学校及び現役校長及び教育委員会等に対する支援の充実
 - ・ 社会貢献活動等の奨励と機会の拡充
 - ・ 県教委・福島大学等との連携による教員の魅力発信
 - ・ 要望活動の充実
 - ・ トルコ大地震に対する義援金
 - ・ 創立60周年記念事業準備
 - ・ 第50回東北協議会福島大会の準備

- 県小・中学校長会及び高等学校長協会、県教育委員会からの要望などに応えるとともに、支部間の連絡調整を強化し、学校等への支援などの社会貢献活動等の充実と拡大を図る。

- 「双葉の灯を消さない」よう、被災・避難された支部・会員への支援活動を継続し、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の被災体験を風化させない活動を継続する。

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のためガイドラインに基づき、新しい生活様式を取り入れた本会運営を徹底する。
令和5年度県大会は郡山で実施する。